

田渡池 (たわたりいけ)

位置図



諸元

貯水量	246 千m ³
満水面積	4.4 ha
受益面積	192 ha
堤高	18.35m
堤長	132 m

田渡池は、高松藩八代藩主松平頼儀侯の時代、寛政8年(1792年)に藩普請として築造された。香川町川東上・川東下、香南町岡・由佐・横井の192haの水田地帯を灌漑する農業用ため池である。

築造以来、数度の改修が行われたが、特に昭和3年(1928年)には堤体前付けと樋管改修が行われた記録がある。そして、それから数十年が経過し、堤体の各所からの漏水が顕著となり、決壊も憂慮される状態となった。このため、昭和59年(1984年)より県営ため池等整備事業として改修に着手し、9カ年の歳月を要し、堤体、樋管、洪水吐の全面改修を行い、平成5年(1993年)1月に完成した。

また、田渡池は清らかな水と周辺の緑に恵まれており、この豊かな自然環境を生かし、池と周辺を利用した公園を整備して地域住民に憩いの場を提供するため、平成4年度(1992年度)から利活用保全施設整備工事に着手した。堤体を利用した緑地広場には、ツツジやヤナギなど様々な植物が植栽された。また、ため池周辺を利用した遊歩道が整備され、展望広場には展望デッキが設置されている。展望デッキから眺めるジャンボジェット機の離着陸は迫力満点である。池の下流では、公園及び駐車場の整備を行い、平成6年(1994年度)1月「田渡池自然公園」として完成した。



堤頂より上流を望む



田渡池自然公園